

(1)



40×315×2 011

本来横材の大型木簡の一部と考えられるが、上下が原型を保つかどうかは不明である。左右は転用あるいは廃棄のために木目に沿つて割裁されている。

木簡の内容は、稻などの出納帳簿的なものと考えられる。このよう性格の木簡の発見は官衙との関連を示唆する。本遺跡近くに駅家があつたとすれば、木簡の時期は宝龜二年（七七二）に武藏国が東山道から東海道に移管された後に属するから、武藏東山道の駅家やその路線の役割がどう変わつていったかを知る上で貴重な手がかりを与えてくれるものと思われる。

なお、木簡の釈文及び性格については、東洋大学の鬼頭清明氏の「教示を得た。

(田中 信)

滋賀・大宮遺跡

おおみや
守山市欲賀町

- | | |
|-------|-----------------|
| 所在地 | 滋賀県守山市欲賀町 |
| 調査期間 | 一九八九年(平1)五月～一二月 |
| 発掘機関 | 勤滋賀県文化財保護協会 |
| 遺跡の種類 | 旧河道 |
| 調査担当者 | 仲川 靖 |
| 遺跡の年代 | 七世紀～五世紀 |

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

大宮遺跡は、守山市の西南部に位置し、南は草津市と境を接している。琵琶湖岸までは約2kmあり、遺跡周辺の標高は900m前後である。遺跡の南には、旧栗太郡と旧野洲郡の境界であった境川があり、これより北に守山川・山賀川などの小河川が流れる。いずれも伏流水から発する河川で、



(京都東北部)

これらは、鈴鹿山地の御在所山付近に源を発する野洲川の分枝流とみられている。

中世以降、これら小河川を取り込んだ遺跡が多くみられ、たとえば、大宮遺跡上流には、境川の三角洲上に立地し、溝で区画された

掘立柱建物が並ぶ横江遺跡や、同じく境川を堀に取り込み船奉行所を置いた芦浦觀音堂遺跡、山賀川を取り込み外堀として寺内町を形成した金ヶ森御坊跡などがみられ、小河川の水運を利用した交易活動をしたことが充分想定される。

大宮遺跡の調査は、守山川中小河川改修事業に伴う発掘調査であり、これまでに琵琶湖側は、水資源開発公団の依頼により調査が終了して改修工事も完了している。今回の調査は、前年度に引き続き、県の土木部河港課の依頼により行なったものである。

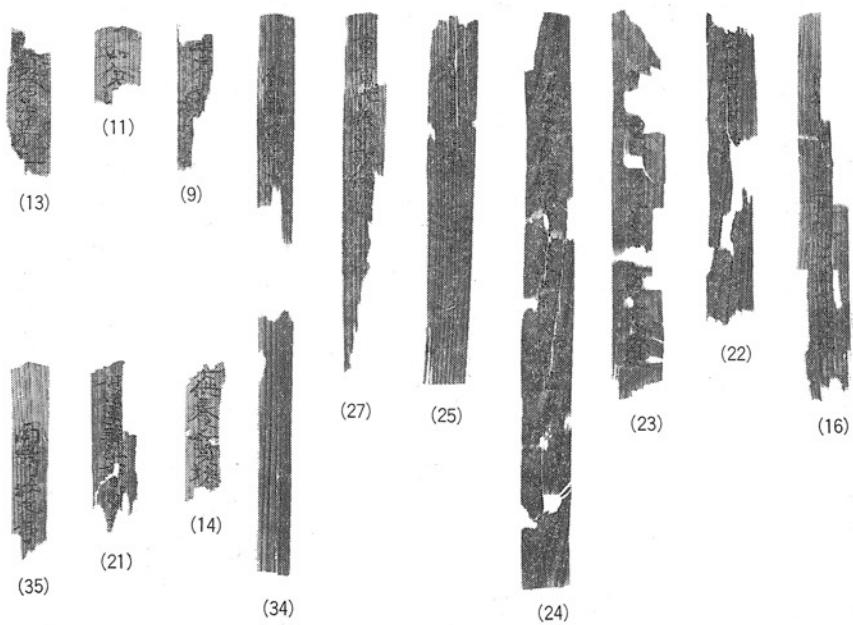
調査の結果、集落跡と思われる遺構の検出は認められなかつたが、現在流れている山賀川の蛇行と同様に蛇行する推定幅三〇mの旧河道を検出した。旧河道の埋没状況は、洪水などの上流からの堆積過程を顯著に示しており、最下層の砂礫層より、一一世紀から一五世紀にかけての土師器・黒色土器・輸入陶磁器・山茶椀のほか、遺存状態の良好な木製品が多量に出土した。

遺跡の性格を示す遺物としては、山茶椀の底部に「八田宅」と墨書したものが三点出土しているほか、物忌札・人形代・柿経・五輪卒塔婆といった宗教色の濃い遺物がある。上流に、これら遺物に関わる邸宅や、寺院のようなものがあつたことがうかがえる。

8 木簡の积文・内容

- (1) 「聞如是法音疑悔悉已除初聞仏所說心中
〔子驚懼〕
(3 11上 19) (170)×20
- (2) 「疾走往捉窮……稱怨大喚我不相犯何」
(4 16下 26) (75+148)×20
- (3) 「為見捉使者執之愈急強牽將還于時窮子
〔放汝隨〕
(4 16下 27) (210)×20
- (4) 「使□語之我今□□□×
- (5) 「逃走伶俾カ」
□□□□
(4 17中 11 ≈) (35)×20
- (6) 「覺知起已遊行到於他國為衣食故勤力求
〔亦快〕
(8 29上 8) (214)×18
- (7) 「〔無〕
X □上安穩授……□歡喜未曾□……□智仏」
〔記〕〔聲歎カ〕
〔有〕〔礼無〕〔量〕
(8 29上 26) (37+55+95)×19
- (8) 「〔設得〕
□□授記不□□×
- (9) 「〔人自在〕
X 当知如是□□□×
- (10) 「〔失〕
□句逗我還為說令得具足□
〔余〕
(10 32上 5) (103)×20
- (11) 「如人渴須×
〔處〕
X □讀誦經皆得見我身若人在空閑〔我遣〕
(10 32中 9) (145)×19
- (12) 「天龍王遣シ
〔我遣〕
(145)×19

(13)		(1132中16) (63)×19
(14)	× 樂供養寶塔 ×	(1132中26) (55)×(17)
(15)	「善知識 <small>(者是)</small> ……大因緣 ×	(2760下9) (40+23)×(16)
(16)	「阿耨多羅三藐三菩提心大王汝見此一子」	(2760下10) (167)×20
(17)	「不此一子已曾供養六十五百千万億那由	(2760下11) (151)×19
(18)	× <small>〔仏〕</small> 親近恭敬於諸佛所受持 <small>〔法〕</small>	(2760下12) (80)×(10)
(19)	× 慧故頂上肉髻 <small>〔光明〕</small> 顯照其眼長廣	(2760下15) (211)×21
(20)	× <small>〔所殖衆〕</small> <small>〔成〕</small>	(2860下29) (55)×(20)
(21)	× <small>〔口〕</small> 德本 <small>〔口〕</small> ×	(2861上5) (78)×19
(22)	「妙法蓮華經普賢菩	(2861上14) (130)×20
(23)	× <small>〔量〕</small> <small>〔口〕</small> 無辺百千万億諸	(2861上17) (160)×20
(24)	「經 <small>〔口〕</small> 普賢菩薩若善 <small>〔男子〕</small> 善女人成就四	(2861上19) 245×20
(25)	「護念一者殖諸德本二者入正定聚四者發」	(2861上23) 160×20
(26)	× 濁惡世中其有受」	



	[品題]	[該當木簡]	[出土行数]	
(1)	「妙法蓮華經」	〔薩婆〕	(28 61中21)	×□□□陀
(2)	「重宣此義而說偈言」	(58)×18		
(3)	「放×」	(155)×18		
(4)	「×得」	(30)×20		
(5)	「羅三藐三波塞慢」	(67)×19		
(6)	「羅三藐三波塞慢」	(82)×(10)		
(7)	「□」	(39)×(8)		
(8)	「□」	(33)×(7)		
(9)	「□」	(40)×20		
(10)	「南無阿彌陀仏」	〔品題〕		
(11)	「南無阿彌陀仏」	〔該當木簡〕		
(12)	「南無阿彌陀仏」	〔出土行数〕		
(13)	「南無阿彌陀仏」	〔1〕		
(14)	「南無阿彌陀仏」	〔2〕		
(15)	「南無阿彌陀仏」	〔5〕		
(16)	「南無阿彌陀仏」	〔6〕		
(17)	「南無阿彌陀仏」	〔7〕		
(18)	「南無阿彌陀仏」	〔8〕		
(19)	「南無阿彌陀仏」	〔9〕		
(20)	「南無阿彌陀仏」	〔12〕		
(21)	「南無阿彌陀仏」	〔13〕		
(22)	「南無阿彌陀仏」	〔14〕		
(23)	「南無阿彌陀仏」	〔15〕		
(24)	「南無阿彌陀仏」	〔19〕		
(25)	「南無阿彌陀仏」	(50)×18		
(26)	「五百弟子受記品第八」	(80)×19		
(27)	「授學無學人記品第九」			
(28)	「法師品第十」			
(29)	「見寶塔品第十一」			
(30)	「妙莊嚴王本事品第十七」			
(31)	「普賢菩薩勸發品第二十八」			
(32)	「固物忌 急々如律令」			
(33)	「固物忌」	〔九九八十一〕		
(34)	「固物忌」	〔一六七〕		
(35)	「固物忌」	〔二十九〕		
(36)	「固物忌」	〔三十〕		
(37)	「固物忌」	〔三十一〕		
(38)	「固物忌」	〔三十二〕		
(39)	「固物忌」	〔三十三〕		
(40)	「固物忌」	〔三十四〕		
(41)	「固物忌」	〔三十五〕		
(42)	「固物忌」	〔三十六〕		
(43)	「固物忌」	〔三十七〕		
(44)	「固物忌」	〔三十八〕		
(45)	「固物忌」	〔三十九〕		
(46)	「固物忌」	〔四十〕		
(47)	「固物忌」	〔四十一〕		
(48)	「固物忌」	〔四十二〕		
(49)	「固物忌」	〔四十三〕		
(50)	「固物忌」	〔四十四〕		
(51)	「固物忌」	〔四十五〕		
(52)	「固物忌」	〔四十六〕		
(53)	「固物忌」	〔四十七〕		
(54)	「固物忌」	〔四十八〕		
(55)	「固物忌」	〔四十九〕		
(56)	「固物忌」	〔五十〕		
(57)	「固物忌」	〔五十一〕		
(58)	「固物忌」	〔五十二〕		
(59)	「固物忌」	〔五十三〕		
(60)	「固物忌」	〔五十四〕		
(61)	「固物忌」	〔五十五〕		
(62)	「固物忌」	〔五十六〕		
(63)	「固物忌」	〔五十七〕		
(64)	「固物忌」	〔五十八〕		
(65)	「固物忌」	〔五十九〕		
(66)	「固物忌」	〔六十〕		
(67)	「固物忌」	〔六十一〕		
(68)	「固物忌」	〔六十二〕		
(69)	「固物忌」	〔六十三〕		
(70)	「固物忌」	〔六十四〕		
(71)	「固物忌」	〔六十五〕		
(72)	「固物忌」	〔六十六〕		
(73)	「固物忌」	〔六十七〕		
(74)	「固物忌」	〔六十八〕		
(75)	「固物忌」	〔六十九〕		
(76)	「固物忌」	〔七十〕		
(77)	「固物忌」	〔七十一〕		
(78)	「固物忌」	〔七十二〕		
(79)	「固物忌」	〔七十三〕		
(80)	「固物忌」	〔七十四〕		
(81)	「固物忌」	〔七十五〕		
(82)	「固物忌」	〔七十六〕		
(83)	「固物忌」	〔七十七〕		
(84)	「固物忌」	〔七十八〕		
(85)	「固物忌」	〔七十九〕		
(86)	「固物忌」	〔八十〕		
(87)	「固物忌」	〔八十一〕		
(88)	「固物忌」	〔八十二〕		
(89)	「固物忌」	〔八十三〕		
(90)	「固物忌」	〔八十四〕		
(91)	「固物忌」	〔八十五〕		
(92)	「固物忌」	〔八十六〕		
(93)	「固物忌」	〔八十七〕		
(94)	「固物忌」	〔八十八〕		
(95)	「固物忌」	〔八十九〕		
(96)	「固物忌」	〔九十〕		
(97)	「固物忌」	〔九十一〕		
(98)	「固物忌」	〔九十二〕		
(99)	「固物忌」	〔九十三〕		
(100)	「固物忌」	〔九十四〕		
(101)	「固物忌」	〔九十五〕		
(102)	「固物忌」	〔九十六〕		
(103)	「固物忌」	〔九十七〕		
(104)	「固物忌」	〔九十八〕		
(105)	「固物忌」	〔九十九〕		
(106)	「固物忌」	〔一百〕		
(107)	「固物忌」	〔一百零一〕		
(108)	「固物忌」	〔一百零二〕		
(109)	「固物忌」	〔一百零三〕		
(110)	「固物忌」	〔一百零四〕		
(111)	「固物忌」	〔一百零五〕		
(112)	「固物忌」	〔一百零六〕		
(113)	「固物忌」	〔一百零七〕		
(114)	「固物忌」	〔一百零八〕		
(115)	「固物忌」	〔一百零九〕		
(116)	「固物忌」	〔一百一十〕		
(117)	「固物忌」	〔一百一十一〕		
(118)	「固物忌」	〔一百一十二〕		
(119)	「固物忌」	〔一百一十三〕		
(120)	「固物忌」	〔一百一十四〕		
(121)	「固物忌」	〔一百一十五〕		
(122)	「固物忌」	〔一百一十六〕		
(123)	「固物忌」	〔一百一十七〕		
(124)	「固物忌」	〔一百一十八〕		
(125)	「固物忌」	〔一百一十九〕		
(126)	「固物忌」	〔一百二十〕		
(127)	「固物忌」	〔一百二十一〕		
(128)	「固物忌」	〔一百二十二〕		
(129)	「固物忌」	〔一百二十三〕		
(130)	「固物忌」	〔一百二十四〕		
(131)	「固物忌」	〔一百二十五〕		
(132)	「固物忌」	〔一百二十六〕		
(133)	「固物忌」	〔一百二十七〕		
(134)	「固物忌」	〔一百二十八〕		
(135)	「固物忌」	〔一百二十九〕		
(136)	「固物忌」	〔一百三十〕		
(137)	「固物忌」	〔一百三十一〕		
(138)	「固物忌」	〔一百三十二〕		
(139)	「固物忌」	〔一百三十三〕		
(140)	「固物忌」	〔一百三十四〕		
(141)	「固物忌」	〔一百三十五〕		
(142)	「固物忌」	〔一百三十六〕		
(143)	「固物忌」	〔一百三十七〕		
(144)	「固物忌」	〔一百三十八〕		
(145)	「固物忌」	〔一百三十九〕		
(146)	「固物忌」	〔一百四十〕		
(147)	「固物忌」	〔一百四十一〕		
(148)	「固物忌」	〔一百四十二〕		
(149)	「固物忌」	〔一百四十三〕		
(150)	「固物忌」	〔一百四十四〕		
(151)	「固物忌」	〔一百四十五〕		
(152)	「固物忌」	〔一百四十六〕		
(153)	「固物忌」	〔一百四十七〕		
(154)	「固物忌」	〔一百四十八〕		
(155)	「固物忌」	〔一百四十九〕		
(156)	「固物忌」	〔一百五十〕		
(157)	「固物忌」	〔一百五十一〕		
(158)	「固物忌」	〔一百五十二〕		
(159)	「固物忌」	〔一百五十三〕		
(160)	「固物忌」	〔一百五十四〕		
(161)	「固物忌」	〔一百五十五〕		
(162)	「固物忌」	〔一百五十六〕		
(163)	「固物忌」	〔一百五十七〕		
(164)	「固物忌」	〔一百五十八〕		
(165)	「固物忌」	〔一百五十九〕		
(166)	「固物忌」	〔一百六十〕		
(167)	「固物忌」	〔一百六十一〕		
(168)	「固物忌」	〔一百六十二〕		
(169)	「固物忌」	〔一百六十三〕		
(170)	「固物忌」	〔一百六十四〕		
(171)	「固物忌」	〔一百六十五〕		
(172)	「固物忌」	〔一百六十六〕		
(173)	「固物忌」	〔一百六十七〕		
(174)	「固物忌」	〔一百六十八〕		
(175)	「固物忌」	〔一百六十九〕		
(176)	「固物忌」	〔一百七十〕		
(177)	「固物忌」	〔一百七十一〕		
(178)	「固物忌」	〔一百七十二〕		
(179)	「固物忌」	〔一百七十三〕		
(180)	「固物忌」	〔一百七十四〕		
(181)	「固物忌」	〔一百七十五〕		
(182)	「固物忌」	〔一百七十六〕		
(183)	「固物忌」	〔一百七十七〕		
(184)	「固物忌」	〔一百七十八〕		
(185)	「固物忌」	〔一百七十九〕		
(186)	「固物忌」	〔一百八十〕		
(187)	「固物忌」	〔一百八十一〕		
(188)	「固物忌」	〔一百八十二〕		
(189)	「固物忌」	〔一百八十三〕		
(190)	「固物忌」	〔一百八十四〕		
(191)	「固物忌」	〔一百八十五〕		
(192)	「固物忌」	〔一百八十六〕		
(193)	「固物忌」	〔一百八十七〕		
(194)	「固物忌」	〔一百八十八〕		
(195)	「固物忌」	〔一百八十九〕		
(196)	「固物忌」	〔一百九十〕		
(197)	「固物忌」	〔一百九十一〕		
(198)	「固物忌」	〔一百九十二〕		
(199)	「固物忌」	〔一百九十三〕		
(200)	「固物忌」	〔一百九十四〕		
(201)	「固物忌」	〔一百九十五〕		
(202)	「固物忌」	〔一百九十六〕		
(203)	「固物忌」	〔一百九十七〕		
(204)	「固物忌」	〔一百九十八〕		
(205)	「固物忌」	〔一百九十九〕		
(206)	「固物忌」	〔一百二十〕		
(207)	「固物忌」	〔一百二十一〕		
(208)	「固物忌」	〔一百二十二〕		
(209)	「固物忌」	〔一百二十三〕		
(210)	「固物忌」	〔一百二十四〕		
(211)	「固物忌」	〔一百二十五〕		
(212)	「固物忌」	〔一百二十六〕		
(213)	「固物忌」	〔一百二十七〕		
(214)	「固物忌」	〔一百二十八〕		
(215)	「固物忌」	〔一百二十九〕		
(216)	「固物忌」	〔一百三十〕		
(217)	「固物忌」	〔一百三十一〕		
(218)	「固物忌」	〔一百三十二〕		
(219)	「固物忌」	〔一百三十三〕		
(220)	「固物忌」	〔一百三十四〕		
(221)	「固物忌」	〔一百三十五〕		
(222)	「固物忌」	〔一百三十六〕		
(223)	「固物忌」	〔一百三十七〕		
(224)	「固物忌」	〔一百三十八〕		
(225)	「固物忌」	〔一百三十九〕		
(226)	「固物忌」	〔一百四十〕		
(227)	「固物忌」	〔一百四十一〕		
(228)	「固物忌」	〔一百四十二〕		
(229)	「固物忌」	〔一百四十三〕		
(230)	「固物忌」	〔一百四十四〕		
(231)	「固物忌」	〔一百四十五〕		
(232)	「固物忌」	〔一百四十六〕		
(233)	「固物忌」	〔一百四十七〕		
(234)	「固物忌」	〔一百四十八〕		
(235)	「固物忌」	〔一百四十九〕		
(236)	「固物忌」	〔一百五十〕		
(237)	「固物忌」	〔一百五十一〕		
(238)	「固物忌」	〔一百五十二〕		
(239)	「固物忌」	〔一百五十三〕		
(240)	「固物忌」	〔一百五十四〕		
(241)	「固物忌」	〔一百五十五〕		
(242)	「固物忌」	〔一百五十六〕		
(243)	「固物忌」	〔一百五十七〕		
(244)	「固物忌」	〔一百五十八〕		
(245)	「固物忌」	〔一百五十九〕		
(246)	「固物忌」	〔一百六十〕		
(247)	「固物忌」	〔一百六十一〕		
(248)	「固物忌」	〔一百六十二〕		
(249)	「固物忌」	〔一百六十三〕		
(250)	「固物忌」	〔一百六十四〕		
(251)	「固物忌」	〔一百六十五〕		
(252)	「固物忌」	〔一百六十六〕		
(253)	「固物忌」	〔一百六十七〕		
(254)	「固物忌」	〔一百六十八〕		
(255)	「固物忌」	〔一百六十九〕		
(256)	「固物忌」	〔一百七十〕		
(257)	「固物忌」	〔一百七十一〕		
(258)	「固物忌」	〔一百七十二〕		
(259)	「固物忌」	〔一百七十三〕		
(260)	「固物忌」	〔一百七十四〕		
(261)	「固物忌」	〔一百七十五〕		
(262)	「固物忌」	〔一百七十六〕		
(263)	「固物忌」	〔一百七十七〕		
(264)	「固物忌」	〔一百七十八〕		
(265)	「固物忌」	〔一百七十九〕		
(266)	「固物忌」	〔一百八十〕		
(267)	「固物忌」	〔一百八十一〕		
(268)	「固物忌」	〔一百八十二〕		
(269)	「固物忌」	〔一百八十三〕		
(270)	「固物忌」	〔一百八十四〕		
(271)	「固物忌」	〔一百八十五〕		
(272)	「固物忌」	〔一百八十六〕		
(273)	「固物忌」	〔一百八十七〕		
(274)	「固物忌」	〔一百八十八〕		
(275)	「固物忌」	〔一百八十九〕		
(276)	「固物忌」	〔一百九十〕		
(277)	「固物忌」	〔一百二十一〕		
(278)	「固物忌」	〔一百二十二〕		
(279)	「固物忌」	〔一百二十三〕		
(280)	「固物忌」	〔一百二十四〕		
(281)	「固物忌」	〔一百二十五〕		
(282)	「固物忌」	〔一百二十六〕		
(283)	「固物忌」	〔一百二十七〕		
(284)	「固物忌」	〔一百二十八〕		
(285)	「固物忌」	〔一百二十九〕		
(286)	「固物忌」	〔一百三十〕		
(287)	「固物忌」	〔一百三十一〕		
(288)	「固物忌」	〔一百三十二〕		
(289)	「固物忌」	〔一百三十三〕		
(290)	「固物忌」	〔一百三十四〕		
(291)	「固物忌」	〔一百三十五〕		
(292)	「固物忌」	〔一百三十六〕		
(293)	「固物忌」	〔一百三十七〕		
(294)	「固物忌」	〔一百三十八〕		
(295)	「固物忌」	〔一百三十九〕		
(296)	「固物忌」	〔一百四十〕		
(297)	「固物忌」	〔一百四十一〕		
(298)	「固物忌」	〔一百四十二〕		
(299)	「固物忌」	〔一百四十三〕		
(300)	「固物忌」	〔一百四十四〕		
(301)	「固物忌」	〔一百四十五〕		
(302)	「固物忌」	〔一百四十六〕		
(303)	「固物忌」	〔一百四十七〕		
(304)	「固物忌」	〔一百四十八〕</td		

これらのうち(2)(3)、(15)(16)(17)(18)はそれぞれ連続していたもので、(22)(23)の間は一行、(10)(11)、(21)(22)、(23)(24)の間は二行、(13)(14)、(18)(19)の間は三行分であったことが字数計算で推定できる。

全体の八巻二七品のうち、第四、第十品の前後と、巻末の第二七、第二八品が集中して出土している。なお(34)と(35)は、六字名号である。

時期は細巾片面写経である点、極めて薄い材を使用している点より一四世紀末を前後する室町時代のものである。

(38)は物忌札で、旧河道の流木にひっかかった状態で出土した。頭部を主頭状に整形し、全面を槍鉋で丁寧に削っている。「固物忌」

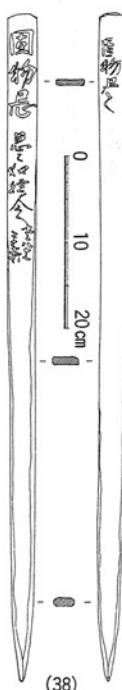
は固く物忌みするといった意味で、呪句「急々如律令」を記し、そ

の下の左右に道教の九宮八十一神、八卦七十二神でもって陰陽順逆相生相剋の理を表わす「九九八十一」と「八九七十二」を逆向きに小書きするテキスト通りのものである。墨痕はすでに消失しているが、門口で長期間さらされていたものとみられ、墨書部分が浮き出しており、遺存状態は良好である。時期は、回転台成形土師器などが共伴しており、一世紀頃のものとみられる。

柿経・物忌札とも旧河道という木製品の保存には極めて好都合な環境状態であったがため、良好に遺存していたものとみられる。特に中世の庶民信仰を知る上で貴重な資料である。今後、上流部での中世集落遺構の景観を明らかにする一資料となればと思う。

滋賀県教育委員会他『守山川中小河川改修事業に伴う大宮遺跡発掘調査報告書』（一九九一年）

（仲川
靖）



(38)